

横浜市子育て応援事業「ハマハグ」 ご協賛店舗および施設様向けアンケート

2024年12月12日

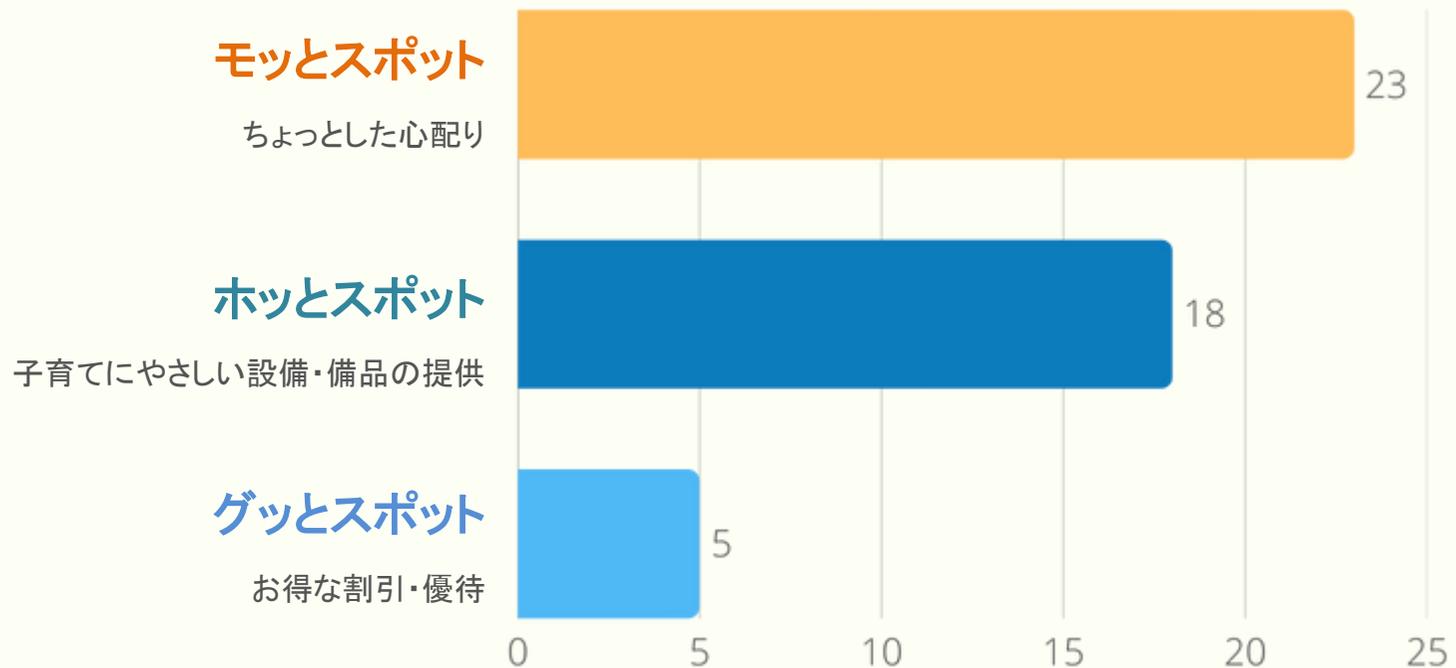
本資料について

横浜市では、市内の店舗・施設の協力のもと、子育て中の方、妊娠中の方を地域社会全体であたたかく見守り、応援する「ハマハグ」という事業を実施しています。

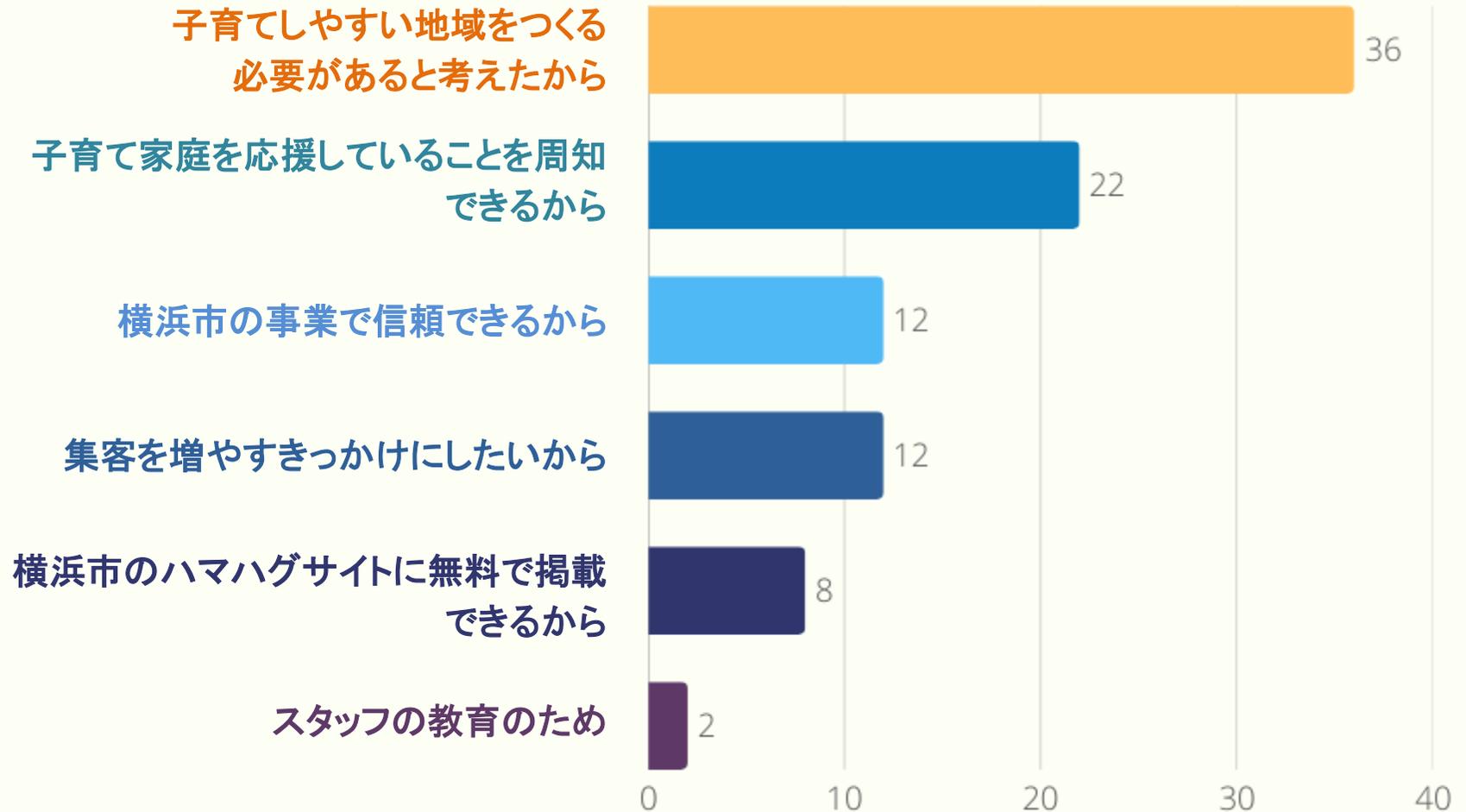
私たち認定NPO法人びーのびーのでは、この事業をよりよい形で地域に広めていくために、ご協賛店舗および施設の皆様と利用対象の皆様に対して2024年10月より2025年1月にかけてアンケート調査を実施しました。

本資料はそのアンケート調査結果のうち、ご協賛店舗および施設の皆様の回答をまとめたものです。

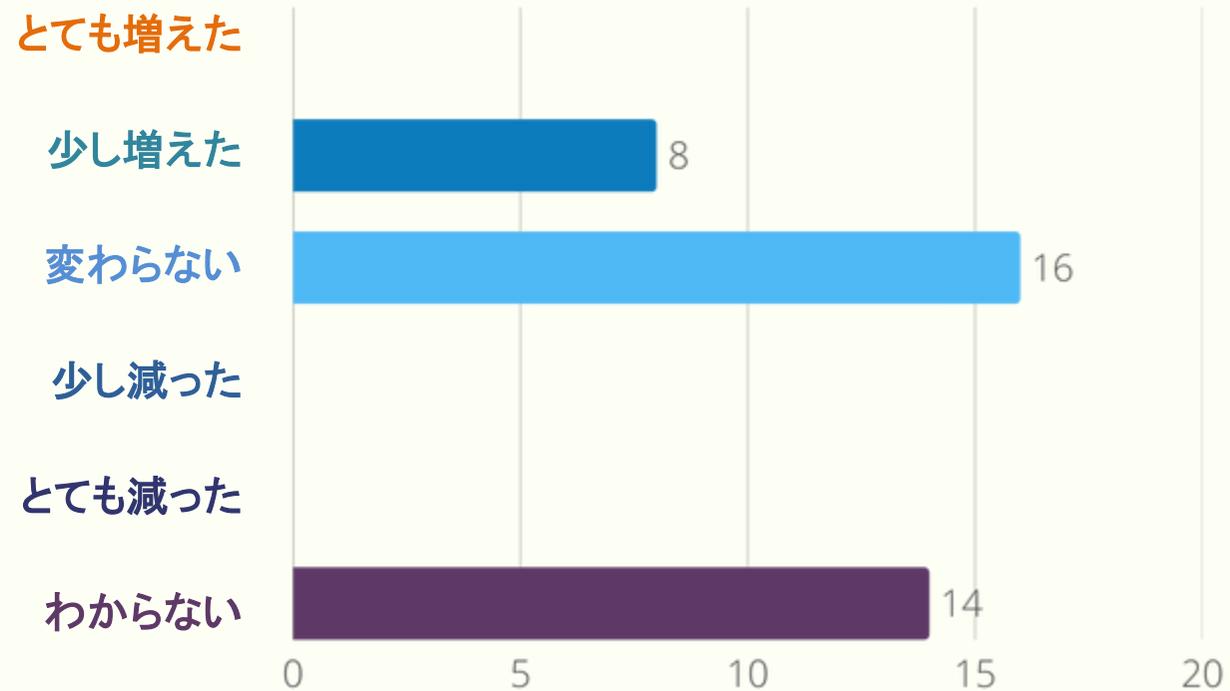
質問1)「ハマハグ」を通じて提供しているサービスを教えてください。(複数回答可)※回答者数38



質問2)「ハマハグ」に協賛した理由を教えてください。(複数回答可)※回答者数38

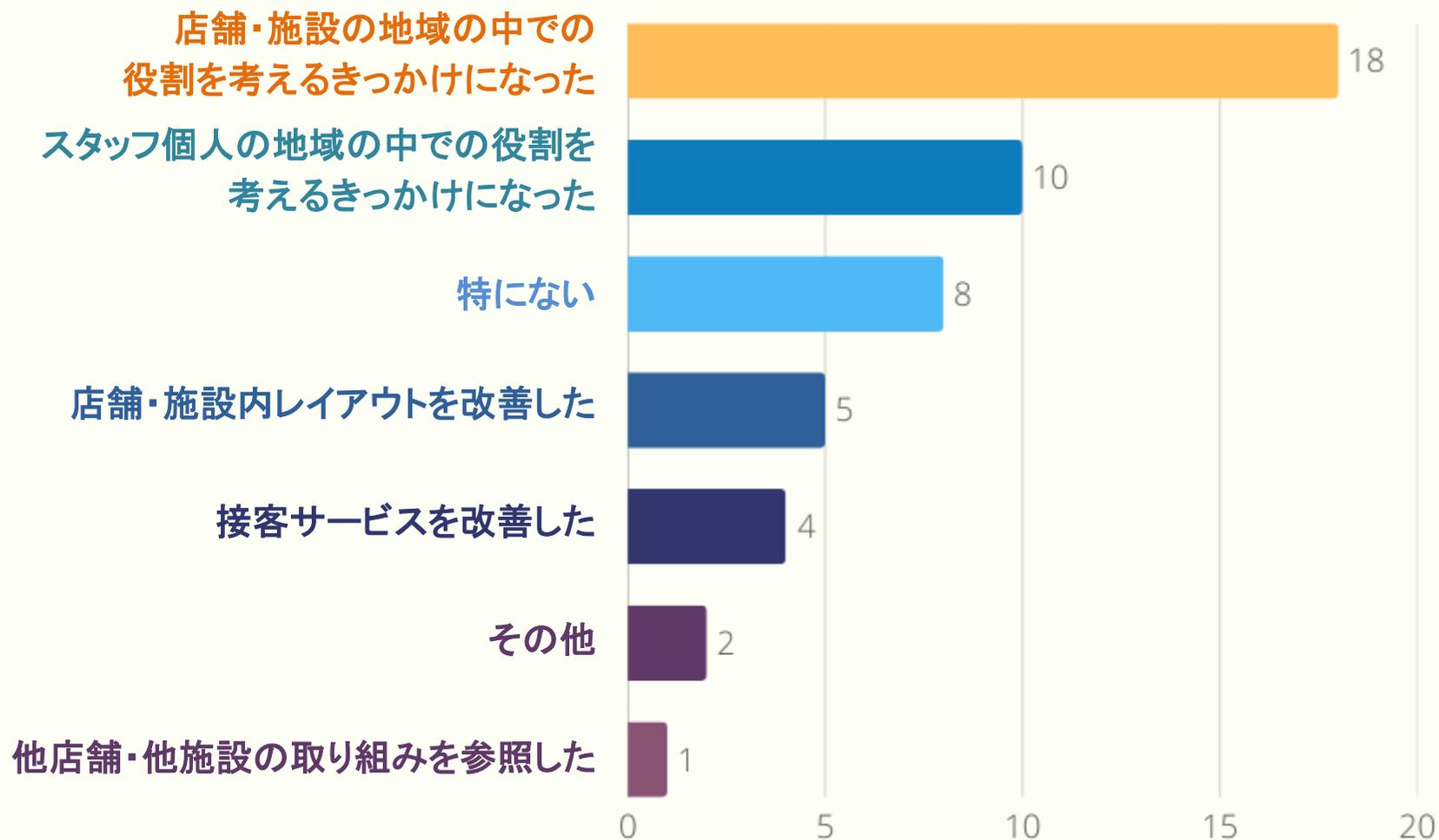


質問3)「ハマハグ」に協賛してから、子育て世帯の利用者数に変化はありましたか。(どれか1つ)回答者数38



質問4)「ハマハグ」への協賛をきっかけに、店舗・施設や スタッフとして変化したことはありますか。

(複数回答可) ※回答者数38



質問5) 子育て中の利用者の声やスタッフとのやりとりなど、 子育て応援に関することで印象的なエピソードがあれば教えてください。(1)

利用者との関わり

- 子育て中の方、妊娠中の方はこの地域で応援されているんですよ！と伝えたところ嬉しそうにされていました！
- 子育て経験のあるスタッフが積極的にあいさつや声かけ、気軽なおしゃべり等を通じて相談にのったりアドバイス、共感、励ましをしたりしています。
- できる限りスタッフが見守りを行い、安心してママさんに治療をうけていただけるよう声掛けさせていただいています。
- 生後3ヶ月の赤ちゃんを連れたママが、初めての外出で不安そうに来店されました。スタッフがご案内し、ゆっくりとお過ごしいただけるよう配慮したところ、『こんなに安心して外出できるなんて思わなかった』と喜んでいただきました。その後、ママ友を連れて定期的に来店されるようになり、赤ちゃんの成長を一緒に見守れることが私たちの喜びとなっています。
- 入り口のドアをベビーカーで通る際、ドアやベビーカーを支えるスタッフや患者さまが増えた気がします



質問5) 子育て中の利用者の声やスタッフとのやりとりなど、
子育て応援に関することで印象的なエピソードがあれば教えてください。(2)

利用者との関わり つづき

- 赤ちゃんが急にぐずり始め、ママは大弱り。すると「まあ、なんて懐かしいの、その泣き声…」とお客様からの声にホッとしてにっこり顔になりましたし、まわりのお客様も優しいまなざしで赤ちゃんとママ見守っていました。お店が温かな空気に包まれました。
- 本院に通ってくれていたお子さんが、当院のアルバイト面接にきてくれた。志望動機には、お世話になった先生方に恩返しをしたいと書いてくれていた。来月から一緒に働くことになった。

ステッカーについて

- ロゴのアンパンマンに反応してくれるお子さんがいて微笑ましく思います。
- ステッカーを見て安心して通えるところだと感じて来院いただいた方がいらっしゃいました！



質問5) 子育て中の利用者の声やスタッフとのやりとりなど、 子育て応援に関することで印象的なエピソードがあれば教えてください。(3)

施設側の感想・気づいたこと

- 離乳食、発育、おむつ、ママ友、子どもの友達関係など皆さん同じような相談があり共通していることは一生懸命子どもと向き合っているなど常々感じます。
- お母さんのホッとした表情をみた時、少しの支援や協力が子育ての励みになったり、子どもの幸せにつながると感じたことがあった。
- 帰りたくない、もっとリトミックする！と泣いてしまう子もいて、お母さんとほほえましく見守っています。
- 日曜に父親と子どもで来館され、絵本を読んでいるシーンも度々見かけることが出来ています。

利用者の声

- もっと早く教室を知っていたら、上の子も通わせたかったです。
- 長期休みの時は兄弟に参加もOKなので、兄弟も楽しみにしています。
- どんなにイヤイヤ期でも、先生が上手に声かけしてくださり、大変な時期も乗りこえられました。



施設が感じた課題

- 子育てを応援しているがなかなか普通の飲食店とわかってしまっていることが多い



質問6) 子育て中の方、妊娠中の方を、地域全体であたたかく見守り、
応援する雰囲気作りを進めていくために、今後店舗・施設として
取り組めたらよいと思うことがあれば教えてください。(自由記述)(1)

サービス・心構え

- 歯科医院や美容院など行きたいけど人目を気にしたり行きづらかったり、行くために誰かに預けなければならないなど、大小あるものの様々なハードルがあると考えています。そんな方など気軽にお声がけいただき微力ですが、歯科医療の立場から少しでもサポートしていけたらと思います。
- 子育て中の方、妊娠中の方、妊娠を考えている方が安心して暮らせるように悩んでいることを相談できる場所としての発信をしていく
- 子連れで施設に迷惑がかりそう…という理由で治療を諦めてしまっている方に、むしろ今自分自身のケアをしてほしいと思っています。お子様を連れてきて大丈夫な施設ということをもっと周知していきたいと思っています。



- 子育て中嬉しいことや悩んでいること、聞いて欲しいことなどホッとひと息できるような場所として使っていただけるよう取り組んでいきたいです。
- 利用者を温かく迎え入れること。利用者から「また来たい」と思ってもらえる施設になること。そのためにはまずは足を運んでもらう取り組みを考えたい。

質問6) 子育て中の方、妊娠中の方を、地域全体であたたかく見守り、
応援する雰囲気作りを進めていくために、今後店舗・施設として
取り組めたらよいと思うことがあれば教えてください。(自由記述)(2)

サービス・心構え つづき

- 気軽に入りにできる場所でいられるようにすること。
- 産前産後特有の疲れや痛みへの対応やどうしてこんなに疲れるのか身体の変化についてのお話をする事でママ自身が落ち着いて身体と向き合い、助けを求めたり身体を休める手段がとれるよう、実践しています。
- お子様泣いてしまっても、周りの目を気にせず過ごしていただけるよう、スタッフ一同が温かく見守る姿勢を大切にしていきます。小さな取り組みではありますが、子育て中の方々に『ここなら安心して来店できる』と感じていただける場所になればと思います。

• 利用できる時間の周知

- 大人と子供と一緒に運動できるプログラム
- お子連れ(赤ちゃん連れ)でも受診可能な所を伝えられたら良いと思います
- 子育て中のママたちは、おでかけが大変。休憩したり、オムツ替えできたり一服できる場所をめざしたい。
- お子様連れのお客様にもゆっくりとお買い物していただくためにぬり絵などを置いていますが、今後も工夫していきたい。
- 宅配サービスを拡充する



質問6) 子育て中の方、妊娠中の方を、地域全体であたたかく見守り、
応援する雰囲気作りを進めていくために、今後店舗・施設として
取り組めたらよいと思うことがあれば教えてください。(自由記述)(3)

サービス・心構え つづき

- 音楽のコンサート(0才から入れる)の企画や紹介の継続
- いわゆる”育てにくい子”も安心して通える教室であるという発信をしていく
- ベビーカーで来られるお客様には、できれば赤ちゃんのことを話題に話しをしています。話していると、ママもパパもどんどんにっこり顔になっていきます。「夜は全然寝ないし、夜泣きで大変なんですー」という苦労話ですら、赤ちゃんを見ながらゆったり笑いながら私たちに話してくれます。また、その私たちとの会話をお聞きになっているお客様が、優しく声がけをしてくださることがよくあります。そんな時は、その時いらしたほかのお客さまも含めて店内全体があたたかな幸せな空気に包まれます。



- あたたかく声かけ、見守り。子育てから離れて時間が経っているので、今のパパ、ママの子育て中の不安や悩みを知る機会があるとよい。
- 法人としてはじめの100か月を大事にすることを強化しているのでそれに準じます

質問6) 子育て中の方、妊娠中の方を、地域全体であたたかく見守り、
応援する雰囲気作りを進めていくために、今後店舗・施設として
取り組めたらよいと思うことがあれば教えてください。(自由記述)(4)

設備・ハード面

- 飲み物としてノンカフェインのものも用意したり、座りやすい椅子を用意するなどには取り組みたい。
- 公道からの入店時バリアフリー化ができれば
- 当校で提供している多機能トイレ、おむつ交換台の自由使用は他施設でも展開出来れば良いと思う。



- ドアをノックしやすいようにハマハグのマークをもっと目立たせてここで休憩したりお湯の補充ができると明記する(現在はマークを貼っているだけなので…)
- 商店街にあるので、とっさの時の助けにと防災や救命の資格をとったり、定期的に勉強している。授乳、オムツ替えの他に、熱中症や簡単な救助等も役に立てたら。